

WANTED

和名：フクドジョウ
学名： *Barbatula oreas*

近縁種が極東アジアに分布する

北海道原産。全長は10～15cmほど。幼魚は一見シマドジョウに似るが、胴体は太い。冷水域を好み、酸素欠乏には弱い。早瀬の礫の間に住み、遊泳力が強い。主食は水生昆虫や付着藻。



れきてい
礫底でくらすフクドジョウ
頭部は上下にやや平たく、水底ですわりが良い

国内外来種 **フクドジョウ** を探しています

北海道原産のドジョウの仲間で、東北地方や関東の一部に定着、サケ科魚類の放流に紛れ込んだと考えられます。1990年代後半に福島県内で確認され、2011年には阿賀川（阿賀野川上流）に広がり、新潟県内の五泉市馬下付近でも1個体記録されました。2015年には五泉市早出川の善願橋や太川橋付近で初めて確認され、現在、上流や支川に分布拡大中。さらに、能代川の支川や安野川、折居川などに、用水路網を通じて分布を拡大しているとみられます。

◆今のところ 法的規制はないが、在来魚や底生動物にとって大きな脅威

繁殖力が強く、大量の水生昆虫を捕食して急速に成長し、1年で8cmに達するものもあるという。同じような環境に住む底生魚（カジカやアカザ、シマドジョウ、ヨシノボリ類など）と、食物や住み場所をめぐる競争し、深刻な被害を及ぼしているものとみられる。



フクドジョウの体色斑紋はさまざま



カジカ



アカザ



シマドジョウ



トウヨシノボリ

フクドジョウによって追い詰められる在来魚

情報をお持ちの方はご連絡ください

生物多様性ネットワーク新潟 事務局

メール：naturewk@basil.ocn.ne.jp

電話・FAX：025-270-2010（井上）

2021.12.17